

6月30日(金)


会場名		講演会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
ポर्टピアホテル	第1会場	ポートピアホール		9:15-10:45 パネルディスカッション1 がん医療・ケアにおける Patient and Public Involvement (PPI:患者市民参画)	11:00-12:00 特別講演1 自分の中の多様性をひろく	13:35-14:35 特別講演2 「自分らしさ」とは何か -万能薬としての「自分らしさ」の正体					15:20-16:50 特別講演3 ホスピス緩和ケア「5つのエッセンス」 -そして自力の精神、利他の心-	17:05-18:05 最優秀演題		
	第2会場	大輪田A	8:30-8:40 開会式	8:40-9:10 大会長講演	9:15-10:45 パネルディスカッション2 終末期の低血糖発作への対応	11:00-12:00 優秀演題1 分野1「痛み」	12:20-13:20 ランチョンセミナー1 放射線療法が支える緩和医療の実際	13:35-15:05 シンポジウム6 緩和ケア領域で「よさそうなおこと」を現場に 実装していくために			15:20-16:50 シンポジウム12 研究初心者のための Tips and Tricks -ヒントとコツ	17:05-18:05 招待講演1 がん患者の治療と仕事の両立支援	18:05- 表彰式	
	第3会場	大輪田B+C			9:15-10:45 パネルディスカッション3 複雑な社会的背景を持つ患者のACP -病院、在宅医療それぞれの立場から-	11:00-12:00 教育講演1 オピオイドの副作用対策を見直す	12:20-13:20 ランチョンセミナー2 おくすりに愛される医療者 になろう -鎮痛薬を活かすも埋める もアナタ次第-	13:35-15:05 シンポジウム7 社会的・人間的視点で病院・緩和ケアを見 つめなおす		15:20-16:50 合同シンポジウム1 進行再発がんのAYA世代がん患者の緩和 ケアを考える 【一般社団法人 AYAがんの医療と支援の あり方研究会】	17:05-18:05 教育講演4 がん患者の突出痛治療を考 える			
	第4会場	借業			9:15-10:45 パネルディスカッション4 緩和ケアにマインドフルネスとコンパシ ョンをどう活かすか?	11:00-12:00 教育講演2 緩和ケアにマインドフルネスとコンパシ ョンをどう活かすか?	12:20-13:20 ランチョンセミナー3 がんの痛みの治療と医療用 麻薬の自己管理 -退院後に向けた病棟管理 からの卒業-	13:35-15:05 シンポジウム8 緩和ケア病棟でがん以外の疾患に対応で きるのか		15:20-16:50 ワークショップ3 がん患者に神経ブロックを適切に提供す るために我々がするべきこと -地域連携・アクセスを考える	17:05-18:05 教育講演5 緩和ケアでも明日からすぐ に使える医療者教育のTips			
展示場	第5会場	2号館1階北			9:15-10:45 シンポジウム1 患者-医療者間のコミュニケーションの充実 を目指して	11:00-12:00 パネルディスカッション6 緩和ケアの専門性って何な の? Complexityという考 え方	12:20-13:20 ランチョンセミナー4 がんの痛みの治療と医療用 麻薬の自己管理 -退院後に向けた病棟管理 からの卒業-	13:35-15:05 シンポジウム9 ゲミカルコーピングについて考える		15:20-16:50 シンポジウム13 終末期ケアエビデンス Up To Date	17:05-18:05 教育講演6 緩和ケア領域における向病 神薬について学ぶ			
	第6会場	2号館1階南			9:15-10:45 シンポジウム2 高齢認知症がん患者への緩和ケア	11:00-12:00 シンポジウム5 つぎにつなげる臨床研究- 痛みをどう評価するのか~	12:20-13:20 ランチョンセミナー5 がんサバイバーシップと緩和 支持療法	13:35-15:05 委員会企画2 高齢者の安全・感染管理と倫理 -何を実践できるのか考えよう- 【安全・感染委員会】		15:20-16:50 シンポジウム14 腫瘍学と在宅緩和ケアの統合	17:05-18:05 教育講演7 信仰を無く 各宗教におけ る生と死、その後の世界観			
	第7会場	2号館2階A			9:15-10:45 ワークショップ1 オンラインセミナーのHow to	11:00-12:00 優秀演題2 分野2「痛み以外の身体症 状」	12:20-13:20 ランチョンセミナー6 心不全の緩和ケアにおける 薬物療法の位置づけと知 っておきたい注意点	13:35-15:05 委員会企画3 日本緩和医療学会の広報活動 を考える 「集まれアバサダー」 【広報委員会】		15:20-16:50 委員会企画4 Advocate for Equitable Access for All: Lessons Learned, Our Efforts and Compassion through working with Developing Countries in Asia. ※開催地別・主催者の別 【国際交流委員会】 登録は不要	17:05-18:05 特別企画 APHNと日本緩和医療学会の連 携の過去・現在・未来-ホスピス 緩和ケアの発展とより公平なア クセスを目指して-			
	第8会場	2号館3階3A			9:15-10:45 シンポジウム3 緩和ケアの場で活躍する外科医のためのジ ンポジウム	11:00-12:00 優秀演題3 分野4「地域・在宅ケア・特定 集団に対する緩和ケア」	12:20-13:20 ランチョンセミナー7 難治性がんの痛みへのア プローチ-評価からメサドンや投 薬を伴う治療法まで、どう考 えてどう対応するか-	13:35-15:05 委員会企画5 緩和医療学会のネクストステージ -緩和医療学会が次の5年ですべきこと~ 【将来構想委員会】		15:20-16:50 シンポジウム15 到達性慢性疾患患者の心理過程、病気の 変化や対応行動	17:05-18:05 招待講演2 緩和ケア従事者が知って おくべきLGBTQsの知識			
	第9会場	2号館3階3B				12:00-12:20 PAL オリエンテーション	12:20-13:20 PAL企画1 がん医療・ケアにおけるPatient and Public Involvement(患 者市民参画)をPAL目標で 深めよう	13:35-15:05 シンポジウム10 私達はどうのようにキャリア選 択を行ってきたか		15:20-16:50 シンポジウム16 緩和ケアにも活かす公衆衛 生学的観点				
	第10会場	1号館2階A			9:15-10:45 パネルディスカッション5 緩和ケアリエゾンチーム -精神疾患のある患者を支える~	11:00-12:00 パネルディスカッション7 専門家に関わっていない 鎮痛の安全性を高めるために 緩和ケアチームができること	12:20-13:20 ワークショップ2 緩和ケアの臨床に高流量鼻カニューラ 酸素療法を活かす	13:35-15:05 シンポジウム9 がん治療から終末期までの、 口腔トラブルの緩和ケア		15:20-16:50 ワークショップ4 苦痛を伴うケアをい つまでするか -実践者に聞いてみよう!	17:05-18:05 教育講演8 緩和ケアにおける便秘の 対応			
	第11会場	1号館2階B			9:15-10:45 シンポジウム4 終末期がん患者のADLを あきらめない	11:00-12:00 教育講演3 呼吸器科に対する薬物療法 を再考する	12:20-13:20 ランチョンセミナー8 地域・在宅緩和ケアをつな ぐ看察	13:35-15:05 シンポジウム11 緩和ケアにおけるポリファーマシー		15:20-16:50 シンポジウム11 緩和ケアにおけるポリファーマシー	17:05-18:05 招待講演9 こまごまできる! 疼痛緩和 のためのIVR-その潜在 な力を知ろう~			
	会議場	第13会場	301			9:15-10:45 委員会企画1 緩和医療における診療報酬 -現場の課題抽出、エビデンス構築、診療 報酬化、実装までの道筋を探る~ 【健康保険・介護保険委員会】	11:00-12:00 優秀演題4 分野5「終末期ケア-専門 的緩和ケア(緩和ケア病棟、緩和 ケアチーム等)」	12:20-13:20 ランチョンセミナー9 難治性がんの痛みへのア プローチ-評価からメサドンや投 薬を伴う治療法まで、どう考 えてどう対応するか-	13:35-15:05 シンポジウム10 私達はどうのようにキャリア選 択を行ってきたか		15:20-16:50 委員会企画6 医師のためのキャリアパス座談会 【教育・研修委員会】	17:05-18:05 シンポジウム16 緩和ケアにも活かす公衆衛 生学的観点		
			401+402(中継)			9:15-10:45 委員会企画1 緩和医療における診療報酬 -現場の課題抽出、エビデンス構築、診療 報酬化、実装までの道筋を探る~ 【健康保険・介護保険委員会】	11:00-12:00 優秀演題5 分野6「教育・啓発普及・研究 方法・その他」	12:20-13:20 ランチョンセミナー10 緩和ケアにおけるポリファーマシー	13:35-15:05 シンポジウム11 緩和ケアにおけるポリファーマシー		15:20-16:50 委員会企画6 医師のためのキャリアパス座談会 【教育・研修委員会】	17:05-18:05 シンポジウム16 緩和ケアにも活かす公衆衛 生学的観点		
		501			9:15-10:45 交流集会1 終末期の在宅支援-親を なくす子どもに 対して私たちは何ができる のだろうか?-Part2	11:00-12:00 交流集会3 はじめに触れる哲学 -哲学チックな自分を見 つけよう-	12:20-13:20 ランチョンセミナー11 緩和ケアにおけるポリファーマシー	13:35-15:05 シンポジウム11 緩和ケアにおけるポリファーマシー		15:20-16:50 交流集会7 緩和ケア研修会の「がん患者 のケアの支援」でがん患者 の講演を効果的な学びに 繋げるには	17:05-18:05 交流集会9 緩和ケア×ベンチャー-緊 急で変わる、未来の緩和 医療			
第15会場	502			9:15-10:45 交流集会2 がん医療で苦しむ患者と 家族への多職種でのホスピ タルケアの開発-医療者の 教育と患者と家族の教育-	11:00-12:00 交流集会4 俳句を詠んでみよう・ふた たび「悲嘆を詠む」	12:20-13:20 ランチョンセミナー12 緩和ケアにおけるポリファーマシー	13:35-15:05 シンポジウム11 緩和ケアにおけるポリファーマシー		15:20-16:50 交流集会8 がん医療の目的と手段に 対して今後の見直しを 行うために-現状課題 解決の支援-でがん患者 の講演を効果的な学びに 繋げるには	17:05-18:05 交流集会10 ユニバーサル・ホスピス マインドを社会実装する 可能性を探ろう~				
展示場	ポスター会場	展示場1号館1階			8:30-11:30 ポスター貼付					14:50-15:30 PALポスター発表1	16:00-16:40 PALポスター発表2			
		展示場1号館 3号館1階							13:35-14:35 ポスター発表①					


このマークがあるセッションは  
WEB 参加の方も会期当日にご視聴いただけます

このマークがあるセッションは  
後日、オンデマンド配信をいたします。  
(オンデマンド配信期間(予定):7月24日(月)~8月31日(木))

7月1日(土)

会場名		講演会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
ポर्टピアホテル	第1会場	ポर्टピアホール		8:30-10:00 特別講演4 がん患者の精神症状緩和のありかむべき道: 「これまで」と「これから」を盟友・森田達也 先生と考える	10:15-11:45 シンポジウム22 緩和ケア普及啓蒙の地域展開-行政・拠点 病院-地域社会の取り組みを活かす-				13:20-14:20 特別講演5 「孤独な戦い」のつくり方 ～面会制限は緩和ケアをどう 壊したか～	15:05-16:35 特別講演6 スピリチュアルケア -対話を通して行くケアリング-				
	第2会場	大輪田A		シンポジウム17 緩和ケアが中心となった時期における消化 管内視鏡/IVRの適応を考える	シンポジウム23 緩和ケアにおける自殺と希死念慮 ～自殺を防ぎ、対処するために医療者は何 をすべきか～		12:05-13:05 ランチョンセミナー9 改めて考え直す「がん性疼痛 」治療:病態別アプローチ と実践	13:20-14:50 委員会企画10 治療抵抗性の疼痛と鎮静の手引き2023 年版 改訂のポイント 【ガイドライン統括委員会】				16:35- 閉会式		
	第3会場	大輪田B+C		パネルディスカッション13 高齢者の痛みのこえを聴き生活を支える	シンポジウム24 緩和ケアに従事する医療スタッフの精神心 理的健康を維持する									
	第4会場	借業		シンポジウム18 これからの在宅緩和ケア研究&教育をどう してゆか?	パネルディスカッション14 緩和ケアにおける適応外使用-院内製剤を 考える		ランチョンセミナー10 Cancer Journeyと痛み		パネルディスカッション18 せん妄存在下での疼痛緩和の困難さとそ の対応					
展示場	第5会場	2号館1階北		合同シンポジウム2 第4期がん対策推進基本計画で期待される緩和医 療-「がん」コロン ～2024合同大会に向けて～ 【一般社団法人 日本サイコロコロジー学会】	パネルディスカッション15 在宅緩和ケアを活かすために必要な制度上 の理解と課題 -病院と地域の緩和ケア連携-		ランチョンセミナー16 免疫チェックポイント阻害薬治療 を受けているがん患者の緩和ケア に悩む医療者が知っておき たい事		教育講演10 患者や家族の「選ぶ」「決め る」「納得」の裏にあるもの	ワークショップ6 コロナによる分断を乗り越える -つながりを取り戻すための奮闘-				
	第6会場	2号館1階南		シンポジウム19 看護ケアの最新エビデンス UP TO DATE	合同シンポジウム4 教育・集中治療における緩和ケアチームの関わりについて 考える 【一般社団法人 日本救急医学会/一般社団法人 日本集中 治療医学会/一般社団法人 日本臨床救急学会】			シンポジウム26 緩和ケアにおける Narrative Medicineア プローチの可能性:聴く力を 磨く	合同シンポジウム6 在宅医療における専門的緩和ケアのスキル アップを考える 【一般社団法人 日本在宅医療連合学会】					
	第7会場	2号館2階A		ワークショップ5 入院中のオピオイド自己管理へ向けた取り 組み	シンポジウム25 骨の悲鳴に耳を傾ける!骨を支え、希望に つなぐための多職種による集学的治療				優秀演題8 分野2「痛み以外の身体症 状」	15:05-16:05 優秀演題11 分野3「精神心理的ケア・社 会的ケア・スピリチュアルケ ア」				
	第8会場	2号館3階3A		委員会企画7 緩和系研究でグラントを取るコツ 【学術委員会】	委員会企画9 緩和ケアを語り聴き癒しあおう ～緩和ケアに携わる看護師のための悩み・ 相談ブース～ 【教育・研修委員会】				優秀演題9 分野4「地域・在宅ケア・特定 集団に対する緩和ケア」					
	第9会場	2号館3階3B			11:45-12:05 PAL オリエンテーション			PAL企画2 緩和ケアの課題と今後への 期待～第4期がん対策推進 基本計画から考える～	PAL企画3 PAL退院前模擬カンファレンス ～治療とケアのゴールを話し合ってみよう ～					
	第10会場	1号館2階A		シンポジウム20 周産期の緩和ケア	パネルディスカッション16 悪性腫瘍、抜いちやダメなの?		ランチョンセミナー11 チームで支える、がん患者さ んの食と栄養 ～悪液質を含めて～		招待講演3 苦や死に向き合う患者・家 族との対話とケア	パネルディスカッション20 精神心理的苦痛を評価する				
	第11会場	1号館2階B		合同シンポジウム3 生きるを支える。症状緩和 【一般社団法人 日本乳癌学会】	合同シンポジウム5 様々なGapを埋め「生きる」を応援するア ドバンスケアプログラミング 【一般社団法人 日本乳癌学会】		ランチョンセミナー12 看護師だからこそ、ここまで できる!-症例から読み解 くがん疼痛治療のポイント-		教育講演11 デスクカンファレンスを考える	パネルディスカッション21 どうしようもない会陰部痛・肛門痛の治療 戦略				
	第12会場	会議場メインホール		シンポジウム21 YA世代の患者のACP、どこで誰とどのよ うに過ごしたいのか -地域連携におけるポイント-	パネルディスカッション17 緩和ケアでの人工的栄養水分補給		ランチョンセミナー13 多職種で考えるがんゲノム 医療		優秀演題10 分野5「終末期ケア-専門的 緩和ケア(緩和ケア病棟・緩和 ケアチーム等)」	パネルディスカッション22 がん悪液質のみならず苦痛をどうマネジメ ントするか				
	会議場	第13会場	第13会場-1	301	委員会企画8 専門医・認定医フォーラム どう変わる?専門医制度 【専門医認定委員会、専門医育成・教育委員 会】	10:15-11:15 優秀演題7 分野1「痛み」		ランチョンセミナー14 緩和医療における口腔ケアのポ イント～口腔カンジダ症の診断と 治療-口腔粘膜炎付着型抗真菌薬 の使用法-		パネルディスカッション19 心不全の緩和ケアは普及しているのか	委員会企画12 男女共同参画推進と緩和医療従事者の ワーク&ライフバランス ～日本緩和医療学会での取り組み～ 【総務・財務委員会】			
			第13会場-2	401+402(中継)		交流集会13 輸血依存患者の終末期にお ける意思決定支援～血液悪 性腫瘍を中心に～		ランチョンセミナー15 その人らしい治療や療養を 目指して～高齢がん患者へ の支援～						
第14会場		501	8:30-9:30 交流集会11 患者力がいっぱいワールド ACPのキーワード!!!		交流集会14 『アラティブ・メディスン』の 実践体験と情報交流の場				交流集会16 緩和領域において、より良 いリハビリテーションを提供 するために我々にできるこ とは	交流集会18 積極的治療を断れる班を前 に、医療者を超えた意思決定支 援の可能性を探る-体験者に力 を借りた症例(ビデオ鑑賞)で考 える				
第15会場	502	交流集会12 多職種協働が変える骨転移患者の 人生～骨転移患者が最期まで「自分 らしく生きる」を支える治療・ケアを 考えよう～		交流集会15 地域における小児緩和ケアの 今と未来を話し合おう!				交流集会17 ACPを病院や地域で広めるた めのコツってありますか?(PART II)～ACPのためのチームビル ディングとは～	交流集会19 臨床宗教師と医療者との協 働と可能性の発展を探る					
展示場	ポスター会場	展示場1号館1階							13:20-14:20 ポスター発表②					
		展示場1号館 3号館1階								15:00-16:30 ポスター撤去				

 このマークがあるセッションは  
WEB参加の方も会期当日にご視聴いただけます

 このマークがあるセッションは  
後日、オンデマンド配信をいたします。  
(オンデマンド配信期間(予定):7月24日(月)～8月31日(木))